

平成22年度 事業報告

特定非営利活動法人雨岳文庫を活用する会

(1) 所蔵文書・歴史資料の調査・研究ならびに関連資料の収集事業

ア. 雨岳文庫所蔵の歴史資料の調査・整理目録採り、撮影

【調査者】 神奈川県立公文書館館員

【調査期間】 平成22年11月4日～12月16日の火、水、木（17日間）

【従事者】 公文書館 96名、 当会会員 30名、 計126名

※ その他調査への対応・世話等、全期間を通じて当会協力者 2名/日

イ. 雨岳文庫関係の資料目録の整理・整備

【従事者】 資料の整理・・・当会会員 野崎昭雄氏（図書館学）

助手1名（無報酬、ボランティア）

平成22年8月23日～平成23年3月31日まで（延べ14日間）

ウ. 雨岳文庫データベース公開準備

11月10日 データベース公開打ち合わせ 神奈川工科大図書館 AV ホール

当会 野崎昭雄、山口匡一 公文書館 中村館員

紀伊国屋書店デジタル課 山本、大野両氏

23年1月18日 データベース取り扱い検討会 神奈川工科大図書館 AV ホール

当会 野崎昭雄、山口匡一 紀伊国屋書店デジタル課 山本、大野両氏

(2) 建物・所蔵資料・家具・什器・民具等の保存・公開事業

ア. 所蔵家具・什器の調査・公開

所蔵什器・農具の公開については一年を通じて随時行った

【従事者】 不特定であり、そこに居合わせた人たち（雨岳文庫クラブ）で適宜対応

イ. 建物の公開

2月の梅園公開、3月の菜の花畑公開に伴って土間まで入れるようにし、中庭も開放するとともに、各部屋や造作についての説明文をつけた。

また、平成22年10月31日に市の教育委員会・歴史解説アドバイザーと共に山口家住宅の一般公開を行った。（当会会員も、解説・警備に参加）

【従事者】 ・梅園、菜の花畑公開については主として、雨岳文庫クラブ

・11月3日の建物公開については上記の通り、伊勢原市教育委員会、歴史解説アドバイザー、雨岳文庫クラブ

※ 菜の花畑の公開については東日本大震災により3月11日をもって中止

(3) 講演会・研究会の開催など、研究成果の公開・発表事業

ア. 論文発表

第3回特別展「大山道展Ⅱ」の製作に当たって、前回と同様に今回も大山「二の鳥居」にまつわる資料を中心として伊勢原市（主として上粕屋）の歴史を考える様々な発見があり、

これを大山道展の製作過程として今回も小冊子にまとめた。

イ. 資料の展示（場 所 雨岳文庫資料館）

大山道の展示『大山道展——交通の変遷と大山道』

開館 平成22年9月25日～12月5日 の間の

日曜日と、催し物がある日の 13:00～16:00

※ これ以後も、催し物等がある時は、5月半ばまで随時開館

【入館者】 513名（平成23年3月末現在）

【従事者】 いせはら観光ボランティアガイドツアー&ウォーク協会
あどおおやまみち、雨岳文庫クラブ、雨岳文庫

※ 第二回目の大山道展のせいか、昨年に比べて入館者が激減した。

(4) 建物・屋敷を中心に、農家の生活の公開および環境の整備事業

ア. 建物の見学者

①	H.22. 4. 1	横浜詩人会議	5名
②	4.12	イギリスより	2名
③	5. 9	アメリカの大学生	10名
4	7.14	観光ボランティア&ウォーク	
⑤	9.15	観光ボランティア&ウォーク	
⑥	9.26	横浜コートハウス	22名
⑦	10. 2	大山街道ふるさと館	2名
⑧	10.14	厚木高校ウォークの会	14名
⑨	10.15	県西社会教育主事会議	12名
⑩	10.29	大山道ウォーク	10名
⑪	10.31	文化財特別公開	60名
⑫	12. 5	大正琴の会	23名
⑬	H23. 1.12	大山道展記念ウォーク	40名
⑭	2. 1	中地区社会教育担当者会議	13名
⑮	2.24	観ボラのウォーク	61名

イ. 梅園散策、菜の花畑散策

※今年、梅の花、菜の花共に開花時期がずれたので、どちらとも区別を付けずに公開した。

期 間 平成23年2月13日、20日、27日

3月2日～6日 それ以降は東日本大震災のため、中止しました。

【対象者】 市民を含む県内外、一般の人

【従事者】 雨岳文庫クラブ

(5) 社会教育的利用事業・自然環境保全事業

ア. 歴史的茶園（自園茶）を含む山口家住宅の周囲の農地と、伝統的な農機具なども使った農業体験学習と共に、山口家住宅周囲の野の食材を利用した調理を工夫し、食べてみた。また、

年配者や幼児の参加も図った。事業を通して自然環境の保全に協力した。

	期 日	内 容
①	平成 22 年 4 月 25 日	竹の子掘り
②	5 月 8 日	お茶摘みお茶づくり
③	5 月 16 日	東京農大藤垣先生の茶摘み・茶揉み
④	5 月 21 日	近隣の人たちの茶摘み
⑤	6 月 9 日、13 日	二の鳥居の草とり
⑥	7 月 18 日	小麦脱穀、製粉、うどん打ち
⑦	9 月 12 日	ヒマワリの種摘み
⑧	10 月 17 日	収穫祭（芋掘り、焼き芋、落花生掘り、落花生煎り、スーパー竹トンボ、どんぐり人形、やじろべい等） 参加者 17 家族 51 名
⑨	11 月 23 日	ミツバチ畑の収穫祭（東京農大有志との連携）（落花生掘り、洗い、ヒマワリの種くるり打ち、収穫した小麦粉のおやき） 参加者（大人 27 名、子供 3 名）

イ. 農業以外の社会教育的事業

	期 日	内 容
①	平成 22 年 6 月 13 日	影絵夢幻語り〈丹沢の樵について〉と丹沢交流会
②	11 月 21 日	秋の文化講座と朗読会〈大陸と日本の感じ方の違い〉
③	12 月 4 日 ～5 日	伊勢原市環境展へ参加〈パネル展示〉。ミツバチの訪う花畑プロジェクト〈バイオジーゼルにも触れる〉
④	平成 23 年 2 月 13 日	童話作家、自作童話の朗読〈童話の場面の団子の木を飾る〉 参加者 大人 54 名、子供 13 名
⑤	3 月 6 日	相模人形芝居公演と人形の解説、（人形が子供と遊ぶ） 講師 林座（国の重要無形民俗文化財） 参加者 大人 59 名、子供 6 名

(6) その他 歴史資料研究（柳生心眼流、直新蔭流と八王子千人同心）
2 日間 延べ 3 名

(7) 協力関係にある団体との協力

- ① 自然塾丹沢ドン会
蕎麦の種まき、手打ち蕎麦教室と野の草の食事会（畑、奥の間）
- ② 読み聞かせグループ「おはなしぼる〜ん」への場所の提供
朗読研修会 雨岳文庫はなれ 月、一回
朗読発表会 山口家住宅奥の間
- ③ いせはら観光ボランティアガイドツアー&ウォーク協会
歴史ガイド研究、建物講座、大山道展の勉強、（主屋、資料館、畑）
- ④ 社会福祉法人「つくし」
野外昼食等の場所の提供、野の草などを使った料理の補い（主屋の奥の間）
- ⑤ め引子供会
め引子ども会夏祭り／おみこし休憩所、大山道展開放、主屋の広間開放
- ⑥ 福祉団体「NPO 法人 苺の会」
チャリティーバザーの場所の提供、協力（離れ）
- ⑦ 其角継承会（連句の会） 連句会（離れ）月、一回
- ⑧ 横浜コートハウスの人たち〈高齢者も仲間に入った、人生を楽しむ会：
横浜市の助成団体〉 今年度は、蕎麦打ち会に利用

(8) 出張

- | | | | |
|---|--------------|--------------------|----|
| ① | H. 22. 11. 3 | 文化庁、文化の日記念フォーラム | 1名 |
| ② | H. 23. 3. 18 | 開成町、瀬戸屋敷 講演「矢倉沢往還」 | 1名 |
| ③ | 3. 23 | 同 上 講演「足柄古道」 | 5名 |
| ④ | 3. 25 | 同 上 講演「大山道」 | 4名 |

※ 東日本大震災のため、3月11日以降次の具¥行事を中止しました。

- 各地の大山道研究団体との会合
- 子供のための茶道教室
- ニホンミツバチのお話と巣箱作り
- 子供のための竹の子やま遊び